



なかるくごう

大田区立仲六郷小学校
令和2年11月25日
校長 山本 秀一

The school where joy of today leads to tomorrow

ゲームやネットとの付き合い方

副校長 工藤 由美子

12月、2020年のカレンダーも最後の一枚です。2019年12月31日、WHO(世界保健機構)に最初のコロナの報告がされましたが、その時、現在の状況を想像できた人はいたのでしょうか?2020年は誰にとっても予測不能で未曾有の激動の1年となりました。

そんなコロナ禍のクリスマスには、子どもたちの元にはどんなプレゼントが届くのでしょうか?この年末年始にゲーム機やスマホを手に入れる子もいるかもしれません。

子どもたちは1日どの位ゲームやインターネットをしているのでしょうか。「令和元年度青少年のインターネット利用環境実態調査」によると、小学生でも2時間近くネットをしていて、ゲームは1時間程度が多いそうです。特に最近では外出がままならないので、つい仕方なく使わせていることはないでしょうか。

2年前、「ゲーム障害」がアルコール依存症と同じように治療が必要な疾病として認知されたのは衝撃的なニュースでした。

ゲームをすると脳内に「快楽物質」が出て、「楽しい」「もっとやり続けたい」となります。毎日長時間続けると、脳には「快楽物質」が常に大量に出ている状態が普通だと認識するようになり、一旦そうなると、「勉強するために少しゲームの時間を減らそう」とすると、「快楽物質」が減ることによって脳が異常事態だと認識し、その異常事態を元に戻そうと脳は「離脱症状」になります。ゲームをやらないとイライラしたり、全くやる気がなくなったり、その不快な離脱症状を出さないためにゲームをやり続けるという負の連鎖がゲーム依存のメカニズムです。そうなると、どんなにやっても満足できず、ゲームを止めると嫌な気持ちになる、だからゲームが止められないという状態に陥ってしまいます。

このメカニズムを踏まえた上で子どもたちをゲーム依存症にしないために、ゲームの使用時間を制限したり、全くしない時間を作ったりすることが大切です。好きなだけゲームをしていると、常に快楽物質が出ている状態を追い求めます。ゲームはインターネットにも置き換えられます。必ず子どもと一緒にルールを作ってから使用させることが肝要です。そして、ルールを作るときには、なぜルールが必要なのか考え、自分自身で時間を設定することがポイントです。また、ルールを守れなかった時は、取り上げるのではなく、どうしたら約束が守れるのか一緒に考えます。また、子どもの成長に合わせてルールを見直すことも必要です。

来年から1人1台の端末機器が配布されます。社会の情報化がコロナ禍で一層進みます。「インターネットに使われてしまう子」ではなく、「使いこなせる子」を育てるために、頭と心を使ってインターネットやゲームと付き合い合えるようになってほしいです。

12月の生活目標

「きれいな学校にしよう」

生活指導委員会 早瀬 佐代子

コロナ禍の休校中に用務主事さんが廊下の壁をペンキできれいに塗っていただきました。けれども、しばらくするとピカピカだった壁面に汚れがいくつも付いていました。壁際に立つと無意識に靴底で壁を蹴っているようです。

12月は目が届かなかったり、気が付かなかったりしたところなど、学校の隅々まできれいになるように取り組んでいきます。

12月の主な学校行事

SC

| | | | |
|----|---|------------------------------|----|
| 1 | 火 | 古典狂言鑑賞教室 (4~6年) | |
| 2 | 水 | 仲よしキッズタイム ALT | SC |
| 3 | 木 | 保護者会 (4~6年) 人権啓発作品展(池上会館)始 | |
| 4 | 金 | 保護者会 (1~3年) ALT 補習 | |
| 5 | 土 | | |
| 6 | 日 | | |
| 7 | 月 | 委員会活動⑧ | |
| 8 | 火 | ALT 避難訓練 (見守り訓練) | |
| 9 | 水 | 午前授業 (校内研究授業のため4-1のみ5時間) ALT | SC |
| 10 | 木 | 安全指導日 人権啓発作品展終 | |
| 11 | 金 | ALT | |
| 12 | 土 | 土曜授業 補習教室 | |
| 13 | 日 | | |
| 14 | 月 | | |
| 15 | 火 | | |
| 16 | 水 | ALT 午前授業 | SC |
| 17 | 木 | | |
| 18 | 金 | ALT 補習⑮ | |
| 19 | 土 | | |
| 20 | 日 | | |
| 21 | 月 | 交通安全講話 (蒲田警察) クラブ活動⑤ | |
| 22 | 火 | ALT お琴体験 (5年) | |
| 23 | 水 | 読み聞かせ ALT | SC |
| 24 | 木 | 給食終 | |
| 25 | 金 | 終業式 午前授業 | |
| 26 | 土 | 冬季休業日始 | |
| 27 | 日 | | |
| 28 | 月 | | |
| 29 | 火 | | |
| 30 | 水 | | |
| 31 | 木 | | |

保護者会 14:45~

12月 3日(木) 4・5・6年生 各教室

12月 4日(金) 1・2・3年生 各教室

校外学習を通して

5年担任 森 勝美・磯部 眞佐子

11月6日にニュースパーク（日本新聞博物館）とカップヌードルミュージアム横浜に行ってきました。元新聞記者の方から話を聞いたり、カップめんの歴史や製造方法を学んだり、待ちに待った1日を楽しく学びながら過ごしました。

<「校外学習」での学びから一句>

秋の日に 横浜で新聞のこと 学んだよ
カップめん 世界にひとつ 作ったよ
作って 食べて おいしいカップめん
食べられない もったいないな カップめん
思い出だ カップラーメン 作ったよ
秋の日に 友だちと 海をみながら おべんとう
新聞の 歴史を知って 興味もつ
自分だけの カップめん 作ったよ
新聞は 未来に伝える 大切に
新聞は 未来に伝う 記録紙だ



コロナでも 社会科見学 うれしいな
たくさんの 新聞の歴史 分かったよ
手作りの カップラーメン いつ食べよう
帰り道 作ったカップめん つぶれてた
新聞の 歴史がつまる ニュースパーク
カップめん めんの入れ方 すごかった
マイカップ 上手にできた ともだちと
友達と おだやかな海を見ながら お弁当
新聞なら ニュースパーク 行ってみよう
めんの味 食べ終わったら 消えちゃった
シアターや ニードル作り 楽しいよ



五年生 いろいろ知って 学んだよ
カップめん また作りたい カップめん
きもちこめ 全国の写真 かがやくよ
横浜で 自分のラーメン できあがり
横浜で 港を見ながら 気持ちよし
色んな具 世界に一つ マイヌードル
休みなく たくさん働く 伝書バト
秋風の中 中でも進む みなともに
江戸時代 新聞づくり 大変だ!!



新聞学ぶ 5W1H 教えられ
カップめん 自分で作る 秋の色
新聞の 一から全てを 学んだ日
今日も 発達している 情報が
横浜の ニュースパーク 歴史あり
おどろきだ ニュースパークで 伝書バト
世界で一つ 自分だけの カップヌードル
おいしいな 世界に一つ マイヌードル
情報よ みんな集まれ ニュースパーク
カップラーメン きせきの一品 すごいな
絵をかいて 色とりどり マイヌードル



「皆ともに」と
「港もに」

「すごい」と
「いいな」を
合成しました。

新聞社 思い起こした 祖母の過去
世界一 新聞いっぱい 過去のこと
ラーメンの いろんな歴史 日本初
災害時 希望あたえる 手がき新聞
記者の人 周りを観察 いつだって



オリンピック・パラリンピック教育について

オリンピック・パラリンピック教育担当 廣村 悠平

オリンピック、パラリンピック教育の一環として、プロのダブルダッチチーム「レグスタイル」を本校にお招きし、中休みにパフォーマンスと講話をしていただきました。ダブルダッチとは、2本の縄を使って跳んだり踊ったりするスポーツです。プロの方が来られるまでにたくさん子どもたちが休み時間、ダブルダッチに挑戦していました。そのため、プロの方のパフォーマンスを見られることをとても楽しみにしていました。当日、レグスタイルの迫力ある素晴らしいパフォーマンスに子どもたちからは「かっこいい」「すごい」などの歓声が上がっていました。

パフォーマンス後、5・6年生が1時間ずつダブルダッチの体験授業を行いました。初めは、縄に入ったり跳んだりすることに苦戦していましたが、レグスタイルの指導によってコツをつかみ、連続で跳ぶことができるようになりました。最後にハの字で何回跳べるか1組と2組で競い合いをしました。そこでは、友達同士で声を掛け合い、応援したり励まし合ったりする姿が見られました。ダブルダッチを通して、体を動かすことの心地良さやスポーツの楽しさを実感するとともに、友達と協力することの大切さも学ぶことができました。



今回の経験をきっかけとして、いろいろなスポーツに親しんでほしいと考えています。



防寒着について

寒さを感じる日も増えてきました。今年度は例年以上に換気を行う必要があるため、教室でも寒さを感じることもあるかと思います。各ご家庭で、登下校等の防寒対策をする際には、以下の約束を確認していただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 教室が寒く感じる場合は上着を着て授業をうけることもあります。動きやすい上着を着用しましょう。（手のひらがかくれない袖の長さが好ましいです。）
- 登下校中や校舎内・校庭ではフードはかぶりません。ポケットに手を入れて歩くのもやめましょう。
- 校舎内では、手袋や耳当て、マフラーははずします。
- チャックやボタンが付いている服はしめて着用します。脱いだ上着を腰に巻いて結ぶのもやめましょう。
- カイロは持ってきません。（腹痛などの事情で持たせる場合は保護者の方が連絡帳にてお知らせください。）

休み時間などに脱いだものをそのまま忘れてしまうことがあります。持ち主に返すためにも記名をお願いします。引き続き、マスクの着用へのご協力もお願いします。

